

平成19年度飯塚支部技術研修会について（報告）

飯塚支部 秋山 吉則

飯塚支部では平成20年2月6日に飯塚橋上部工架設の現場見学会を開催しました。支部会員22名の参加です。

まず始めに、都市施設整備課大津吉輝主任技師に事業に至るまでの経緯から飯塚橋完成までの一連の流れを説明していただき、次に施工業者である川田建設・ピーシー橋梁JVの現場代理人結城健氏に飯塚橋上部工の工事概要及び施工方法を説明していただきました。

飯塚橋は浸水対策事業の一環として架け替えしており、橋長L=142m、幅員17.0mのポストテンション方式PC4径間連結中空床版橋で、平成19年7月に着工し、平成21年12月に供用開始予定です。

上部工の施工方法は、次の手順で行います。

- ① 1径間毎に分けて架設を行い、1径間の長さが約35mあるため、工場にて5分割（1つの長さ約7m）で製作し、トレーラで現場まで運ぶ。
- ② 7mに分割した桁を特殊な接着剤を使用し、現地にあるヤードで緊張させて一体化させる。
- ③ 650tクレーンを使用し、約35mあるPC桁を16本架設する。
- ④ この工程を4径間繰り返し行い、合計64本の桁を架設する。
- ⑤ 架設完了後、桁の隙間をコンクリートで間詰めする。

最後に③の工程にある650tクレーンを使用し、架設している状況を見学しました。650tクレーンは九州に1台しかなく、今まで見たことのない大きさでかなり迫力があるものでした。見学会とは別に地元の方も多数見に来ており、物珍しそうに写真を撮っている方もおられました。

以上、平成19年度飯塚支部研修会の報告でした。お忙しい中、川田建設・ピーシー橋梁JVの皆様には研修会の準備及びわかりやすい説明をしていただき、ありがとうございました。



架設状況

支部活動状況



大津主任技師による説明



結城氏による説明



現在通行中の歩道に設置している看板